【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公表番号】特表2014-521477(P2014-521477A)
【公表日】平成26年8月28日(2014.8.28)
【年通号数】公開・登録公報2014-046
【出願番号】特願2014-525297(P2014-525297)
【国際特許分類】
Ａ６２Ｃ　13/22　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６２Ｃ　13/22

【手続補正書】
【提出日】平成27年1月22日(2015.1.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
筒体（３）と筒体（３）の一端に設けられる筒蓋部品（４）とを含む爆発放散型エアロゾル消火装置内筒であって、
前記筒体（３）に、コネクティングロッド（１２）と、ガイドユニット（１３）と、位置制限装置（１４）とを含む爆発放散装置が設けられ、
前記コネクティングロッド（１２）は筒蓋部品（４）に接続され、
前記ガイドユニット（１３）は、コネクティングロッド（１２）が移動する際にガイド作用を果たす装置であって、
前記位置制限装置（１４）は、コネクティングロッド（１２）を固定すると共に、コネクティングロッド（１２）の末端が筒蓋部品（４）までスライドした場合にその位置を制限する装置であることを特徴とする爆発放散型エアロゾル消火装置内筒。
【請求項２】
前記爆発放散装置は、摩擦層（１１）をさらに備え、前記摩擦層（１１）は、前記コネクティングロッド（１２）と前記筒体（３）との間に設けられ、前記コネクティングロッド（１２）が前記ガイドユニット（１３）にガイドされて前記筒体（３）の熱気流の噴射方向に沿って変位する際、前記摩擦層（１１）は摩擦抵抗力とバッファリング力を与えることを特徴とする請求項１に記載の爆発放散型エアロゾル消火装置内筒。
【請求項３】
前記ガイドユニットは、コネクティングロッド（１２）に固定して接続されたガイドリング（１５）、又は、筒体（３）の外壁に設けられてコネクティングロッド（１２）をその軸方向に沿ってスライドさせるガイド溝であって、前記位置制限装置（１４）は、筒体（３）に固定して接続されたフランジング（１６）と、コネクティングロッド（１２）を固定するための係止爪（１７）と、を含み、前記フランジング（１６）とガイドリング（１５）との間に衝撃緩和部品（１８）が設けられることを特徴とする請求項１に記載の爆発放散型エアロゾル消火装置内筒。
【請求項４】
前記フランジング（１６）と筒体（３）が一体的に形成されることを特徴とする請求項３に記載の爆発放散型エアロゾル消火装置内筒。
【請求項５】

前記コネクティングロッド（１２）と筒蓋部品（４）が固定して接続される、又は一体的に形成されることを特徴とする請求項１乃至４の中のいずれかに記載の爆発放散型エアロゾル消火装置内筒。
【請求項６】
前記コネクティングロッド（１２）の変位が３０～８０ｍｍであることを特徴とする請求項５に記載の爆発放散型エアロゾル消火装置内筒。
【請求項７】
前記筒蓋部品（４）の噴射口がゴムシール（１０）で密封されることを特徴とする請求項６に記載の爆発放散型エアロゾル消火装置内筒。
【請求項８】
前記筒蓋部品（４）と筒体（３）との接続箇所に、断面が円形であるシールリング（９）が設けられることを特徴とする請求項７に記載の爆発放散型エアロゾル消火装置内筒。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明による技術的手段は以下の通りである。
筒体（３）と筒体（３）の一端に設けられる筒蓋部品（４）とを含む爆発放散型エアロゾル消火装置内筒であって、前記筒体（３）に、コネクティングロッド（１２）と、ガイドユニット（１３）と、位置制限装置（１４）とを含む爆発放散装置が設けられ、コネクティングロッド（１２）は筒蓋部品（４）に接続され、ガイドユニット（１３）は、コネクティングロッド（１２）が移動する際にガイド作用を果たす装置であって、位置制限装置（１４）は、コネクティングロッド（１２）を固定すると共に、コネクティングロッド（１２）の末端が筒蓋部品（４）までスライドした場合にその位置を制限する装置であることを特徴とする爆発放散型エアロゾル消火装置内筒である。筒蓋部品（４）が位置制限装置（１４）から離脱して前へスライドする場合、筒体の内部の元の高圧気体は出（圧力放散）口の拡大によって、高速に分散されると共に、物理作用で消費・移転されて、爆発放散され、つまり、筒蓋部品（４）が前にスライドする過程が筒体（３）の圧力放散過程である。
爆発放散装置は、摩擦層（１１）をさらに備え、摩擦層（１１）は、コネクティングロッド（１２）と筒体（３）との間に設けられ、コネクティングロッド（１２）がガイドユニット（１３）にガイドされて筒体（３）の熱気流の噴射方向に沿って変位する際、摩擦層（１１）は摩擦抵抗力とバッファリング力を与える。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
本発明の内筒は上記の実施形態の構造に限られず、また、携帯式消火装置又は固定式消火装置に限られることもなく、圧力の放散及び爆発防止の問題に係わっている他の装置にも適用できる。
本発明は、図面に示された実施形態に限定されるものではない。よって、添付の特許請求の範囲で言及された特徴に続いて参照番号が参照され、このような参照番号は、単に特許請求の範囲の理解を深めることを目的として含まれるものであり、特許請求の範囲の範囲を限定するためのものではないことが理解されるべきである。